

○東海大学 富田恒之准教授による講義の様子と生徒の感想



講義名：「身近な化学と物理～スマホを例に～」

☆生徒から講師へのお礼と感想

1年 S.Eさん

今回、大学の学部情報から富田先生の研究分野であるセラミックスの話など幅広く教えていただき、有意義な時間を過ごすことができました。私は講義の最後の方に行われた偏光板を使った実験や紫外線を当てて色が変わる実験が一番印象に残りました。偏光板を二枚使うと、横波である光を遮断することができます。実際に二枚を縦と横にして重ねると光が遮断されて黒くなっていました。しかし、三枚目の偏光板を二枚の間に斜めに入れると黒くなりませんでした。私は、緑色の偏光板を重ねれば重ねる程真っ黒になっていくと思っていましたが、なぜ黒にならないのかと不思議に思いました。私は講義の中では解決することができなかったので、後で調べてまとめてみたいと思います。

1年 K.Rさん

今回、東海大学の理学部の話を聞いて、理学部のことについてたくさんを学びました。特に印象的だったのは、理学部では基礎をしっかりと学んで応用力をつけていくということです。基礎というのは「簡単」という意味ではなく、「様々なものに適用できる」ということを意味していると聞き、「基礎」の概念が変わりました。また、大学に入って何をやるかだけでなく、その後の就職や社会にどのような影響を及ぼすのかも詳しく教えていただきました。これからの大学選びや学部選びを考えるいい機会になりました。その他にも理学部と工学部の違いとして、理学部は将来の選択肢が広いことや、工学部は出口がはっきりしていることを教えていただきました。さらに、学科によって理論系なのか実験系なのかを教えていただき、非常に役に立ちとてもためになる50分間でした。今回の講義をきっかけに、勉強への意識を変えていきたいです。